

先端技術実用化支援事業

公開セミナー『製造現場における AI の活用』

主催：由利本荘市 にかほ市 公益財団法人本荘由利産学振興財団

共催：秋田県立大学 HYper Net Akita 秋田県産業技術センター
にかほ市工業振興会 あきた AI・IoT 技術互助会

AI 技術の利活用により、製造業は革新的な変革を遂げようとしています。
本セミナーでは、AI の導入による生産性向上や品質管理の最適化について、
事例を交えながら解説します。

製造現場の課題を解決し、競争力を高めるための AI 利活用のポイントを学び、
よりスマートなものづくりを実現するためのアイデアをご紹介します

日時：令和 7 年 9 月 10 日 (水曜日) 13:30~16:30

場所：秋田県立大学 本荘キャンパス AVホール

定員：200名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費：無料

◎プログラム

【13:40~14:50】

セミナータイトル 『グラフィカル言語 LabVIEW による製造現場向けアプリケーション例』

秋田県立大学 知能メカトロニクス学科 教授
齋藤 敬 氏

内 容：テキストベースのソフトウェアは一般に習熟には時間がかかります。一方、フローチャートが直接動作するような「ノーコード」のグラフィカル言語があります。このような言語のパイオニアである言語 LabVIEW は、習熟が容易であるため、産業界でもソフトウェア内製に活用されています。本セミナーでは、LabVIEW を活用した異常検出等、製造現場で応用可能な実践的な内容を紹介します。

【15:00~16:10】

セミナータイトル 『外観検査装置の内製化を目指す画像処理 AI 開発入門』

秋田県立大学 知能メカトロニクス学科 准教授
伊藤 亮 氏

内 容：AI 開発に必要なソフトウェア類の多くはオープンソースであり、多少の知識さえあれば誰でも AI を開発できる状況になっております。本セミナーでは、AI を活用した画像処理技術について解説するとともに、製造現場で画像検査を内製化する流れ・ポイントについて解説いたします。

